

## 新ブランドと共に水産事業を盛り上げる



宮崎県水産振興祭



第46回漁協職連体育大会



11/21 漁港・漁村ふれあい祭り (川南町)

## CONTENTS

特集 第12回 海幸彦 -UMISACHIHIKO-

### FISHING POLITICS

漁政



全近かつ・事務局長会について

宮崎県水産振興祭

第52回宮崎県青年・女性漁業者交流大会

宮崎県漁政対策委員会 第4回委員会

お魚料理講習会

第5回カツオ資源問題検討会

第2級海上特殊無線技士講習会

海難事故防止強調運動出動式

臨時組合長会議開催

平成22年10月属人水揚げ表

### FISHERY MANAGEMENT

漁協経営情報



JFのグループ組織・経営・事業戦略にか  
かかる事業別将来ビジョン説明会

### BUSINESS

業務情報



2010年末商品宮崎カンパチ販売

郡司工場長表彰される

「みやざき金ふぐ」が水産物ブランド品  
認証第9号として誕生

### FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報



平成22年度上半期定期監査

平成22年度第3回理事会

人事異動

退職のご挨拶

金フグフェア開催中

### FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場



マダイ・ヒラメの放流効果について  
—増殖部—

10月の動き (県関係)

### RELATED ORGANIZATION

関係機関



第46回漁協職連体育大会

県旋網漁業組合 第3役員会

全国漁港漁場大会

10月の動き

水産宮崎ダウンロードサービス

※必要な方はコチラから A4 サイズで出力出来ます。





折生迫磯建網組合

手束則義氏



折生迫磯建網組合（宮崎市）

# UMISACHHIKO

**例** 年9月から4月中旬まで漁期となるイセエビ。その最盛期は9月から11月で、宮崎市沿岸の青島周辺も代表的な漁場のひとつです。

今回は、6年ほど前から共同でイセエビ漁を行っている折生迫磯建網組合（おりゅうごいそたてあみくみあい 24名）の手束則義さんと宮崎市漁協青島本所の東尾幸洋さんにお話を伺いました。





海幸彦  
インタ  
ビュー

## ◎ 今月の海幸彦

折生迫磯建網組合 手束則義さん

### ■ 手束さん、イセエビはどうやって獲るんですか？

建網(たてあみ)漁です。沿岸の瀬(岩場)に網を寝かせるように仕掛けて、岩場にいるイセエビをからめて獲ります。だいたい前日の午後3時ごろに網を仕掛けて、早朝引き上げに行きます。海の様子を見て、漁が終わったらずぐに仕掛けに行く時もあります。

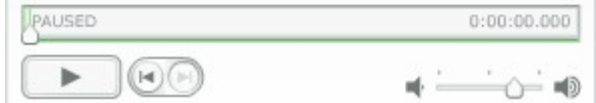
### ■ 網が破れそうですが・・・。

破れますよ。岩にひっかかったり、外す時に破れたり。昔はそれを修理して使っていたそうですが、今は、いよいよダメになったら買い換える消耗品ですね。

### ■ 共同で漁をされているそうですね。

青島支部には2つの磯建網組合があって、私は折生迫磯建網組合で24人います。もうひとつは白浜で15人です。6年ぐらい前から共同でやっていて、高齢化で人手をまかなうこと、経費を削減して効率よく漁をすることなどが理由ですね。

また、資源を守るために、時期によって漁場を決めていて、組合でイセエビ漁をするのは9月から11月の3カ月。さらに網にかかった小さいものは放流します。1回の漁で数十尾を海に返すこともあります。







## 海幸彦 インタ ビュー

### ■東尾さん、青島のイセエビはどんな流通をするんですか？

特長はここでイセエビのセリを行わないことです。以前は愛媛県の漁協に頼んで買い取ってもらっていましたが、10年ほど前にキロ単価が大幅に下がったことがありました。その時に漁業者と話し合いをして、自分たちで獲ったものは自分たちの名前で売りたいということになりました。そこで、漁協が全てのイセエビを買い取って、漁協が直売所で売ったり、業者に売ったりする方法を始めました。青島のイセエビを知ってもらうために、イベントもやって、人気が定着してきました。



えびパラまつりの様子（2010.9.18撮影）

### ■共同で漁を行うことで、変わってきた点がありますか？

漁協の買付日が月、水、金で、それ以外の日に獲れた分は、漁業者が自分たちで作った水槽に入れて管理します。水槽に入る量は限られているので、余分な漁はしないことや、獲ってきても売れないとダメだという意識が定着したと思います。それと、月ごとに買い取り金額を決めたため、収入も安定してきました。



### ■えびパラまつりですね。

えびパラまつりのほかに、宮崎市漁協いせえび祭りというのもやっていて、それぞれのイベントで1トンのイセエビを使います。漁協直売所もスーパーなどより安い価格設定をしているので、よく売れています。宅配の注文も多く、今年9月は1000件送りました。



### ■手束さん、今後についてひとことお願いします。

私の所は親子3世代漁師で、若い世代も頑張れるよう将来の資源のことも考えなくては、と思います。乱獲をしない、計画的な漁をする、丁寧に獲る。そして、「青島のイセエビはおいしい」と消費者に喜んでもらえるいいものを出荷したいと思っています。



## 全近かつ・事務局長会について

**全** 国近海かつお・まぐろ漁業協会は、平成22年10月22日(金)東京都千代田区 三笠ビルにおいて、漁業所得補償制度に関わる事務局長会を開催した。

この制度については、資源管理に取り組む漁業者を対象として、漁業共済や積立プラスを活用した収入安定制度を構築し、コスト対策である漁業経営セーフティネット構築事業と合わせて、総合的な所得補償制度とするものである。

事務局長会では、水産庁及び漁済連からこの制度について概要説明を受けた後、今後全近かつ協が作成する資源管理計画について説明があった。

概要は次の通り。

1. 指定漁業許可船については、国が作成する資源管理指針に基づき、全近かつ協が資源管理計画を作成し、国の認定を受け、この資源管理計画に基づいて参加する。
2. 指定漁業以外の届出船及び自由漁業船は、都道府県が作成する資源管理指針に基づき地域の漁業関係者(漁連等)が資源管理計画を作成し、都道府県の認定を受け、この計画に基づいて参加する。
3. 国と全近かつ協で協議検討している資源管理計画
  1. 遠洋まぐろ延縄漁業、近海まぐろ延縄漁業、遠洋かつお一本釣り漁業、近海かつお一本釣り漁業の4種類とする。
  2. 資源管理計画の取組については厳密な確認が求められていることから、数量的規制(漁獲量の総量規制、小型魚獲規制等)でなく、休漁を対象とした内容とする。
  3. 休漁について、まぐろ延縄漁業については通常のドックに要する日数に新たに休漁日を追加する考えとする。また、かつお一本釣りについては、年間の操業中に休漁日を設ける考えとする。
  4. 資源管理計画に参加するタイミングは共済契約と連動し、かつ、共済契約に数ヶ月要することから、全近かつ協は毎月資源管理計画へ参加する漁業者の案内を実施する。



## 宮崎県水産振興祭



**10** 月26日(火)、宮崎県水産会館において平成22年度宮崎県水産振興祭(主催 宮崎県・水産9団体)を開催し、水産功労者・水産業優良経営者表彰式が執り行われた。冒頭、丸山県漁連会長が開会を宣言、東国原知事が主催者を代表し挨拶を行った。引き続き関屋農政水産部次長が審査経過を報告し、知事より水産功労者2名、水産業優良経営者延べ25経営体に賞状を授与し、栄誉を称えとともに日頃の労をねぎらった。これに対し功労者表彰を受けた松田義雄氏が謝辞を述べた。



## 水産功労者

日高春身(85歳)

日南広渡川漁業協同組合

日南広渡川漁業協同組合理事及び代表理事組合連合会理事として系統団体の円滑な運営、組織強化に長きにわたって尽力されました。

また、多様化する環境保全に関する対応等、内水面の振興はもとより、シラスウナギの密漁の取り締まりや遊漁との調整等にも積極的に対応され、幅広く総合的な観点からも多大な貢献をされました。



松田義雄(62歳)

北浦漁業協同組合

北浦漁業協同組合の職員として41年間もの長きにわたり在職し、参事就任後は、各種施設整備、漁家経営向上、職員教育等に尽力されました。

さらに、養殖漁業の区画整備や「北浦灘アジ」「ひむか本サバ」などのブランド化等、漁協販売体制の強化にも尽力され、北浦漁業協同組合の発展に貢献されました。



また同会場駐車場において、県民へ県内の特徴ある水産物のPRを目的に、水産物即売会も行われ、県内一円の水産物が販売された。

## 第52回宮崎県青年・女性漁業者交流大会

**第**52回宮崎県青年・女性漁業者交流大会は、平成22年10月26日(火)に宮崎県水産会館大研修室で開催された。今年度の発表は日南市漁協青壮年部 蛭田透氏の「日南市漁業協同組合青壮年部～小学生を対象とした体験漁業の取組み～」の発表と日南市漁協女性部加工グループ太田豊子氏の「後世に伝えたい私達の味～魚うどんにかける思い～」が発表された。審査の結果、両氏とも全国青年・女性交流大会に県代表として推薦された。また、各グループにおける取組報告及び水産庁の講演があった。報告内容及び講演については次のとおり。

### 取組報告

- ①マグロ養殖種苗供給基地検証事業  
(門川漁協ヨコワ採捕グループ 岩井一生氏)
- ②小学校における水産教室の取組について  
(宮崎市漁協 宮河指導漁業士)

### 講演

- ①生産者自ら販売力を強化するための支援  
(水産庁漁政部加工流通課 森 水産加工専門官)
- ②生産者による販売力を強化する取組の紹介  
(財)魚価安定基金 向井調査役)





## 宮崎県漁政対策委員会 第4回委員会

**宮** 崎県漁政対策委員会(会長 丸山英満)は去る10月8日、第4回委員会を開催した。

協議内容は下記の通り

(1) 日向灘掃海訓練海面設定について

ひきつづき、日向灘掃海訓練海面設定について説明会が行われた。



宮崎県漁政対策委員会



日向灘事前協議

## お魚料理講習会

**去** る10月28日、高鍋高校においてお魚料理講習会を開催した。

延岡市漁協・都農町漁協女性部の方を講師に迎え、3年生38名がかつお料理に挑戦した。

生徒達は悪戦苦闘しながらも講師に習いなんとか大きいかつおを捌き、3品作ることが出来た。“魚を食べると頭が良くなる”と聞いてか、大きいすり鉢に漬けたかつおは試食の際にはあっという間になくなった。自分達で捌いた魚は普段食するものよりも格段においしく感じたようで、ほころんだ顔がとても印象的な講習会となった。



## 第5回カツオ資源問題検討会

**平** 成22年10月18日に、東京都三田共用会議所において、水産庁、研究者、関係団体、漁業者約80名が参加し第5回カツオ資源問題検討会が開催され、本会からは船主2名と事務局2名が出席した。

まず、遠洋水研より、WCPFC第6回科学委員会資源評価結果として、我が国近海へのカツオ来遊が悪化している状況を踏まえ、我が国から積極的にデータ提供を行った結果、前回評価よりやや悪化しているものの、まだ持続的水準に留まって。ただし、1操業当たりの漁獲量が下落傾向にあり、また、資源状況が急速に低下してきている。熱帯水域における高水準の漁獲が我が国周辺水域を含む高緯度への回遊減少を引き起こしている可能性が指摘された旨報告があった。

参加各団体から漁模様について現況報告の後、カツオ資源問題に対応するための協調した取組について検討が行われた。全近かつ協からは北緯20度以北の日本周辺の海域で操業する日本漁船の漁業種類別のカツオ年間漁獲量の総量規制を作るよう提案したが、今回の検討会では結論には至らなかった。

資源減少への懸念は全ての団体が認識しており、12月のWCPFCの本会議の動向を踏まえ、今後の対応について検討を続けていくこととなった。



## 第2級海上特殊無線技士講習会

**平** 成22年10月24日(日)から26日にかけて第2級海上特殊無線技士講習会を北浦漁協を会場として実施した。

16名が受講したが、最終日に行われた試験で全員が合格した。なお、本講習会は全国漁業就業者確保育成センターの漁船乗組員スキルアップ事業を活用し実施した。



# FISHING POLITICS

## 海難事故防止強調運動出動式・パトロール

**漁** 船海難防止強調月間(10月1日～10月31日)の初日にあたる10月1日、日南市油津港において漁船海難事故防止強調運動出動式が行われた。今回の出動式にはライフガードレディース(LGL)宮崎の一員として県南漁協女性部8名が参加、海上に出でのパトロールでは、操業船に対し海難事故防止をアナウンスで切実に訴えた。ライフジャケットの着用で生存率が大きく変わることから、着用の徹底をお願いしたい。



## 臨時組合長会議開催

**去** る10月26日、水産会館において臨時組合長会議を開催した。協議内容は下記のとおり  
・県知事選について

## 平成22年10月属人水揚げ表

漁協名 \ 区分	10月分			10月末累計			昨年同月累計			増減		魚価対比 %
	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	魚価 円/kg	数量 t	金額 千円	
北浦	2,285	187,655	82	25,610	1,801,056	70	22,813	1,560,435	68	2,797	240,621	2.8
島浦町	1,118	188,445	169	10,005	1,510,009	151	8,171	1,230,460	151	1,834	279,549	0.2
延岡	80	34,331	432	437	181,422	415	364	155,735	428	73	25,687	-3.0
延岡市	114	39,861	351	948	502,941	531	879	454,556	517	69	48,386	2.6
庵川	167	56,555	338	1,387	534,126	385	1,510	562,189	372	-122	-28,062	3.4
門川	43	29,632	691	487	258,836	531	432	259,394	601	56	-558	-11.6
日向市	277	203,396	735	3,294	1,922,639	584	2,933	1,787,340	609	361	135,299	-4.2
都農町	11	12,627	1,118	288	195,609	680	273	176,661	648	15	18,948	4.9
川南町	190	200,195	1,051	2,953	1,982,573	671	2,774	1,840,295	663	179	142,278	1.2
一ツ瀬	16	10,533	667	134	90,763	679	140	103,511	740	-6	-12,748	-8.3
憶浜	17	5,301	311	137	43,762	320	142	46,016	324	-6	-2,254	-1.0
宮崎	140	59,661	425	1,155	404,182	350	1,186	436,690	368	-3.1	-32,508	-4.9
宮崎市	86	60,185	697	689	389,071	565	881	508,165	577	-192	-119,094	-2.1
日南市	696	262,434	377	8,356	2,984,337	357	7,706	2,991,497	388	650	-7,160	-8.0
南郷	2,126	815,427	384	17,692	5,655,665	320	16,476	5,535,165	336	1,216	120,500	-4.8
栄松	144	50,303	350	1,412	431,329	305	1,340	475,151	355	72	-43,822	-13.9
外浦	486	142,110	292	6,125	1,793,879	293	6,415	2,064,732	322	-290	-270,853	-9.0
串間市東	56	27,161	482	1,061	428,220	404	1,443	479,758	332	-383	-51,538	21.4
串間市	419	221,974	530	4,721	2,764,503	586	4,587	2,594,949	566	134	169,554	3.5
合計	8,472	2,607,787	308	86,891	23,874,922	275	80,466	23,262,697	289	6,425	612,226	-5.0

端数処理の関係で、下1桁が合わない部分があります。

♪海といっしょに 浜といっしょに♪

**元気に暮らそう JF 共済**

チョコ・くらし・カサ・リコー  
ねんきん・マイコン・なぎさ年金

漁業協同組合・JF共済推進本部  
<http://www.kyosui.or.jp>

FISHING POLITICS



# JFのグループ組織・経営・事業戦略にかかる事業別将来ビジョン説明会

**漁** 連および信漁連は10月6日、宮崎県水産会館において県内全漁協を対象に新運動方針「JFグループ組織・経営・事業戦略」にかかる事業別将来ビジョン説明会を開催した。

説明会の内容については、来年3月末までに行う県域ビジョンの策定に向けて、事業改革等を織り込んだ事業別ビジョン策定の基礎資料となる作業シート作成要領についての説明となった。

また、漁協の販売事業改革の一助として産地の販売力強化に関する補助事業の説明も行われた。



## (1)新運動方針アクションプランの取り組みについて

## (2)事業別将来ビジョンの策定について(購買・販売事業)

説明者:全漁連 信用・組織指導部 部長代理 濱田 浩氏

## (3)水産振興活性化予算

「水産物産地販売力強化事業」について

説明者:水産庁漁政部加工流通課調整班 流通調整係長 富樫 真志氏

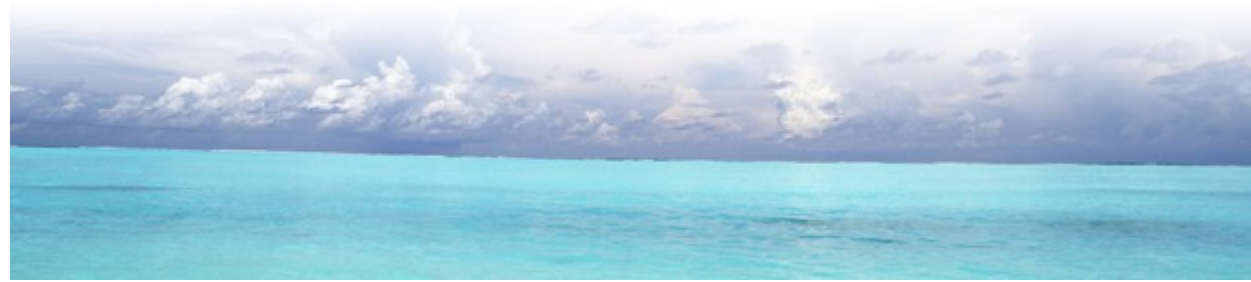
人と自然との調和

台所用液体石けん

クレンザー

**わかしお** を使おう!

資材の購入はJFグループ(漁協・漁連・全漁連)へ



年末商品 宮崎県水産物ブランド品認証第1号

# 2010 宮崎カンパチ 販売のご案内



日頃から、宮崎県産の水産物を御愛顧いただきありがとうございます。本年も、宮崎の漁師さんが、丹精込めて育て上げた宮崎県水産物ブランド品認証第1号の「宮崎カンパチ」を皆様の食卓にお届けします。

また、今年からみな様のご要望にお応えし、フィレ加工したものをご提供する運びとなりました。フィレ加工は、2枚組を真空パックしたものをご用意しております。

宮崎の風土香る、自慢の「宮崎カンパチ」をこの機会にぜひご賞味ください。

なお、ご注文は、ご予約申込書より郵便又はFAXして頂くか、専用フォームによりご注文ください。



販元醤油  
「カンパチ専用  
オリジナル醤油」150cc

商品 宮崎カンパチ(1尾:3.0~3.5kgサイズ)1箱1尾入り  
(カンパチ専用オリジナル醤油1本付き)

	1尾	フィレ2枚
金額		
・宅配の場合	6,000円/尾 (送料・税込み)	7,000円 フィレ2枚 (送料・税込み)
・お引き取り場所(下記)にて受け取りの場合	5,500円/尾 (税込み)	6,500円 フィレ2枚 (税込み)

注文受付締切 12月17日(金)まで

配達日 12月30日(木)

お引き取り場所にて受け取りの場合、午前9時~午前11時

※宅配の場合、地域によっては翌日着になることもあります。

ご注文先 宮崎県漁業協同組合連合会(JF宮崎漁連)

〒880-0858 宮崎市港2丁目6番地

Tel:0985-28-6111 Fax:0985-22-5759

料金のお支払い方法 前払い:12月22日(水)まで

### 振込先

[金融機関] 宮崎日ノ出郵便局

[口座番号] 01700-3-16339

[名義人] 宮崎県漁業協同組合連合会

※期限内にご入金がない場合、商品の発送ができませんのでよろしくお願い致します。

お申し込み方法 ご予約申込書を注文先まで郵便またはFAXでお送りください!!(PDFファイル)  
当ホームページにてご予約の方はこちらからご注文ください!!

## ■お引き取り場所

<p>魚乃里 ぎょれん丸 TEL:0985-28-6114 〒880-0858 宮崎市港2丁目6番地 ■受取時間 12月30日(木) 9:00~11:00</p>	<p>延岡市(県漁連 土々呂製氷工場) TEL:0982-37-0025 〒889-0513 延岡市土々呂町3丁目4498番地 ■受取時間 12月30日(木) 9:00~11:00</p>	<p>日南市(県漁連 日南支所) TEL:0987-23-5231 〒887-0000 日南市宇石河588-127 ■受取時間 12月30日(木) 9:00~11:00</p>





## 郡司工場長表彰される

**平** 成22年10月14日第23回宮崎県高圧ガス保安大会が宮崎駅東のニューウェルシティ宮崎2階ホールにおいて開催された。この大会は高圧ガス関係者の保安意識の高揚、災害、事故防止並びに保安の確保を図る事を目的に毎年開催されるもので、今年で23回目を数えている。

その席上において、日南製氷第1工場の郡司工場長が長年の従事者として他の3名とともに優良従事者表彰として知事表彰を受けた。

当日は、主催者挨拶の後、表彰式が行われ東国原県知事より一人一人に表彰状と記念品が授与された。

表彰式の後には来賓祝辞、特別講演と続き、午後より各部会に分かれ講演が行われ、本会からも「冷凍部会」の製氷担当者が数名出席した。

## 「みやざき金ふぐ」が宮崎県水産物ブランド品 認証第9号として誕生

### ○経過

1.この夏、口蹄疫で被害の大きかった都農町、川南町の漁協組合員等から構成されます「みやざき金ふぐ振興会」より水産物の消費拡大及び地域興しの観点から「みやざき金ふぐ」のブランド申請がありました。いきいき宮崎のさかなブランド確立推進協議会では、直ちに事務審査を行うとともに、水産・流通・報道・外食等関係11名の委員で構成される審査検討会を、この11月11日(木)県水産会館で開催し、委員から「毒フグの混入を除くことの大事さ」や「地域興しのためにブランド化を進めてほしい」など貴重なご意見を頂戴するとともに申請のあった「みやざき金ふぐ」はブランド認証にふさわしいとの結論を得ることができました。

※写真:審査検討会の様子



※写真:委員会の様子

2.これにより早速、水産・行政・地域婦人等関係者15名で構成される委員会をこの11月16日(火)県水産会館で開催し、「みやざき金ふぐ」のブランド認証について審議を行いました。委員から「他の漁業者の参加について」の質疑があり、申請者から「当面2漁協の漁業者が水揚げする「みやざき金ふぐ」であるが、将来的には「みやざき金ふぐ振興会」に参加して頂き県下全般に対応できる用意はある」との答弁がありました。このほかいくつか質問がありましたが、申請者の丁寧な説明により、「みやざき金ふぐ」はブランド認証することに決定いたしました。

3.そして、同日引き続き、水産物ブランド品認定書交付式を開催し、丸山会長のあいさつ、関屋宮崎県農政水産部水産担当次長の来賓祝辞、続いて丸山会長から「みやざき金ふぐ振興会」会長児玉紀明氏に対して、水産物ブランド品認定書が交付されました。

※写真:認定書交付の様子



4.この後、「みやざき金ふぐ」の原魚展示がなされ、現物を認識して頂くとともに、味覚によるPR効果を目的に「みやざき金ふぐ」料理の「やっぱり(たたき)」、「から揚げ」、「チリ鍋」が提供され、出席委員及び報道関係者等は、「美味しい、美味しい」と試食を堪能されました。





※写真:料理・試食の様子



# S S E N S I S I S B

### 「みやざき金ふぐ(宮崎県水産物ブランド品認証第9号)」の特徴

日本三大荒海の一つである日向灘で育った、安全・安心な天然の「シロサバフグ」をみやざき金ふぐ振興会の漁業者が「一番美味しい！」と思う「時期」・「サイズ」・「取扱」にこだわって、市場に水揚げしたもの。



### 認証基準

- 1. 漁業者が美味しい！とこだわったもの**
  - みやざき金ふぐ振興会の漁業者が10月から2月までの間に日向灘で漁獲した「シロサバフグ」。
  - 大きさは100グラム以上あり、漁獲時に活着しているものを、速やかに水氷の中で活け締めし、鮮度を保持したまま持ち帰ったもの。
  - 外観に傷がなく、金色の鮮やかなもの。
- 2. 安全・安心の取組の実施**
  - 有毒なフグの混入を除くため、国の通達を元に漁業者(第一段階)、漁協職員(第2段階)の2段階のチェックを行う。
  - チェック体制を維持するため、関係漁業者及び漁協職員は、国の通達内容についての自主研修を年1回実施するとともにフグ関係の講習等があれば積極的に参加する。
- 3. 資源にやさしい取り組みの実施**
  - 漁法は、延縄・一本釣りとし、網は使用しない。
  - 100グラム未満の小型魚は海へ返す。





## 平成22年度上半期定期監査

**漁** 連では、上半期棚卸監査を10月4日から5日まで、会計監査(棚卸品・現金・預金)10月18日から22日(4日間)にかけて運営・会計全般に亘り本所及び各出先事業所ごとに平成22年度上半期定期監査を実施した。監査は、3名の監事により、財務の状況及び事業の状況並びに予算統制等について執行された。



## 平成22年度第3回理事会

**漁** 連は、10月22日(金)水産会館第一中研修室において、平成22年度第3回理事会を開催し、次の事項について報告及び議案審議を行い、全議案とも原案通り承認された。

### 報告事項

1. 平成22年9月末事業実績について
2. 人事異動について
3. 内部監査の結果について
4. 電算システムの入札結果について
5. 石油類の価格改正について

### 附議事項

- 第一号議案**  
平成22年度上半期監事監査結果に関する件
- 第二号議案**  
諸規程の改正に関する件
- 第三号議案**  
平成22年度コンプライアンスプログラムに関する件

## 人事異動

平成22年10月14日付

氏名	新	旧
小西 登喜男	定年により退職	延岡支所長

平成22年10月15日付

氏名	新	旧
岩下 一郎	延岡支所長	延岡支所次長
草野 晋太郎	延岡支所職員	土々呂製氷工場職員

## 退職のご挨拶

私はこの度平成22年10月14日をもちまして、宮崎県漁業協同組合連合会を定年退職致しました。

振り返ってみますと、北浦製氷工場に昭和48年1月、臨時職員として採用されました。当時、北浦製氷工場はイワシ漁が盛漁期を迎えようとしていた頃で、最盛期には、朝出勤すると道路脇に輸入氷を積んだ大型車がずらりと並び、遠い所は鳥取県境港から運んでいました。それでも足りず四国から運搬船をチャーターし、一度に200トン、300トンを輸入し巻き網船に供給していた当時懐かしく思い出されます。

平成18年に延岡支所へ異動となり、37年間悔いの無い勤務を終えることができました。これも漁業者・関係役職員の皆様の暖かいご支援の賜と感謝致しております。

現在、漁業情勢はかつて経験したことのない厳しい状況にあります。役員一同協力しあい頑張ってくださいませよう願っております。

県下漁業協同組合・宮崎県漁業協同組合連合会の一層のご発展をお祈りするとともに大漁、航海の安全を願って退職のご挨拶と致します。



小西登喜男

## 金フグフェア開催中

**今** 年11月に宮崎県水産物ブランド認証品となった、金フグをいち早く食べていただこうと11月から12月にかけて「ぎょれん丸」では、金フグフェアを開催しています。  
とらふぐにも負けない美味しさですので、ぜひご賞味下さい。  
なお、いずれも限定メニューとさせていただきます。



金ふぐ鍋定食 1,800円



金ふぐB定食 1,300円

JF宮崎漁連直営店

# ぎょれん丸

魚乃里

**宮崎県水産物  
ブランド品が  
食べたい!**

【営業時間】  
【直売所】 月～木 AM10:00～PM5:30  
          金～日 AM10:00～PM8:00

【レストラン】  
昼の部 月～木 AM11:00～PM2:30 (昼のみ)  
夜の部 金～日 AM11:00～PM2:30  
          PM 5:00～PM8:30

【問い合わせ】  
〒880-0858 宮崎県宮崎市港2丁目6番地  
TEL.0985-28-6114

忘れてませんか？あなたの命を守る大切なもの。

## 救命衣、着用していますか？

宮崎県漁業就業者団体協議会 宮崎県漁業協同組合連合会

**資材の購入は系統へ  
漁協・漁連・全漁連**

お問い合わせ先  
宮崎県漁業協同組合連合会業務部 TEL 0985-28-6111

FISHERIES CO-OPERATIVE



### マダイ・ヒラメの放流効果について —増殖部—

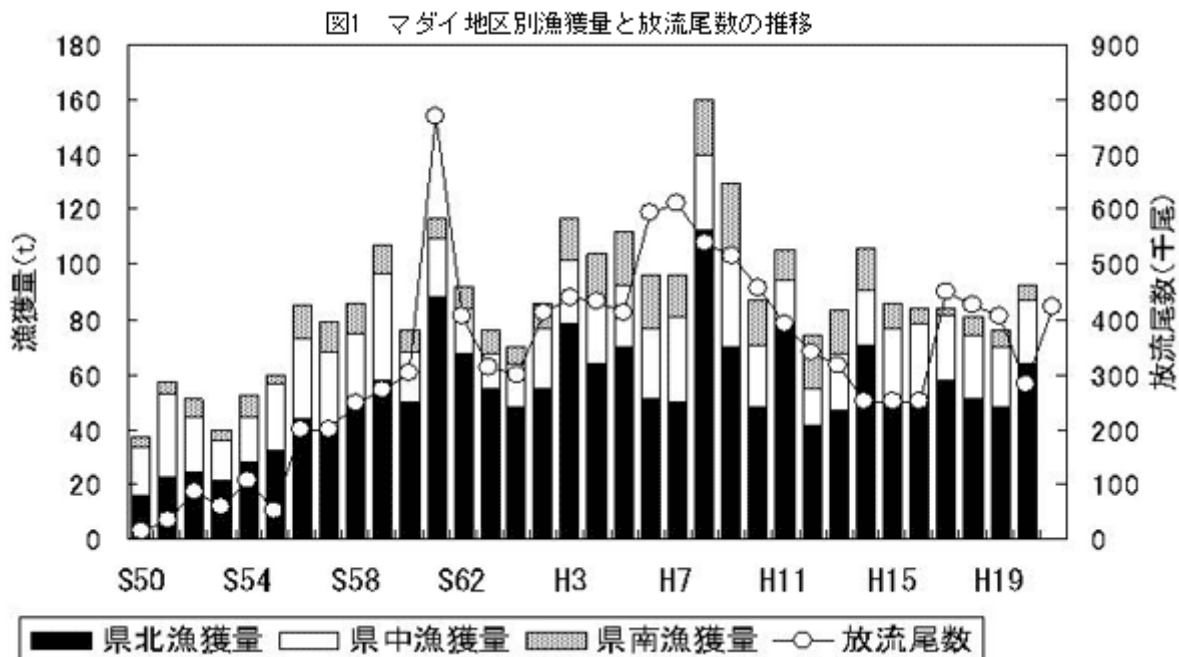
本県では、昭和50年からマダイ、昭和60年からヒラメの放流に取り組んでおり、現在では毎年、それぞれ20万尾を超える放流が各地で実施されています。

水産試験場では、市場調査等によりマダイ・ヒラメの漁獲動向を探り、放流効果がどの程度あるのかを中心に調査しています。今回は、市場調査結果をもとに推定した放流効果について紹介します。

#### 1.マダイの放流効果について

##### (1) 漁獲量の推移

図1のとおり、マダイの漁獲量は、昭和50年代前半は50トン前後で推移していましたが、本格的な種苗放流が始まった昭和55年以降は増加傾向を示し、平成8年には過去最高の160トン記録しました。これは昭和50年の約3倍であり、種苗放流の効果と推察されます。その後、平成14年までは75～100トン台での増減を繰り返し、平成15年～18年は80トンを超える水準で推移しており、平成19年には75トンにまで減少したものの、平成20年は93トンと増加しています。



##### (2) 毎年の放流魚混獲状況

表1は、本県のマダイ漁獲量のうち放流魚が混獲されている重量と割合を、市場調査等の結果により推定したものです。

平成4～20年(17カ年)における平均混獲重量は全体の11%の11トンと推定されました。



	重量(トン)		
	全体	放流魚	割合
H4	104	12	12%
H5	112	12	10%
H6	96	14	14%
H7	96	13	13%
H8	160	21	13%
H9	130	15	11%
H10	87	14	16%
H11	104	22	21%
H12	75	9	12%
H13	82	7	9%
H14	106	13	12%
H15	85	9	11%
H16*	85	9	11%
H17	86	8	10%
H18	82	4	5%
H19	75	4	6%
H20	93	4	4%
平均	98	11	11%

表1 毎年のマダイ放流魚混獲状況

\*平成16年の「全体」は、他県海域を操業する大・中型まき網の重量、生産額を除外した数値

### (3) 放流群別の放流マダイ回収状況

表2は、放流された年ごとのマダイ放流群について、各群各年齢ごとに漁獲による回収尾数、重量、回収率を、市場調査等の結果により推定したものです。平成4～14年放流群の平均回収尾数は15千尾、重量は約13トン、平均回収率は3.1%と推定されました。

放流年	放流尾数		標準率 (鼻孔隔皮)	年齢別							計	
	漁獲量	放流サイズ		0才	1才	2才	3才	4才	5才	6才+		
H4	432,000	39.8	67.4	回収尾数(尾)	0	10,700	1,000	900	200	700	800	14,300
	104t			回収重量(kg)	0	3,283	664	1,015	242	1,550	3,131	9,885
	59.9mm			回収率(%)	0.00	2.48	0.23	0.21	0.05	0.16	0.19	3.31
H5	413,000	10.5	67.4	回収尾数(尾)	600	12,300	10,600	2,100	1,100	1,200	500	28,400
	112t			回収重量(kg)	81	4,211	6,299	2,200	1,811	2,666	1,925	19,193
	71.9mm			回収率(%)	0.15	2.98	2.57	0.51	0.27	0.29	0.12	6.88
H6	593,000	13.8	67.4	回収尾数(尾)	3,500	5,200	8,200	2,500	600	3,000	1,200	24,200
	96t			回収重量(kg)	294	1,394	4,179	2,499	942	6,783	4,677	20,768
	71.2mm			回収率(%)	0.59	0.88	1.38	0.42	0.10	0.51	0.20	4.08
H7	611,000	9.66	67.4	回収尾数(尾)	2,500	30,500	8,800	2,200	2,800	600	900	48,300
	96t			回収重量(kg)	230	8,010	5,539	2,418	4,767	1,512	3,324	25,800
	67.2mm			回収率(%)	0.41	4.99	1.44	0.36	0.46	0.10	0.147	7.91
H8	540,100	13.2	67.4	回収尾数(尾)	0	2,100	6,000	5,900	500	400	1,000	15,900
	160t			回収重量(kg)	0	837	4,496	6,804	859	866	3,729	17,591
	61.8mm			回収率(%)	0.00	0.39	1.11	1.09	0.09	0.07	0.19	2.94
H9	514,000	10.5	67.6	回収尾数(尾)	0	1,800	2,700	1,000	400	600	800	7,300
	130t			回収重量(kg)	0	639	1,849	1,151	590	1,421	2,890	8,540
	67.7mm			回収率(%)	0.00	0.35	0.53	0.19	0.08	0.12	0.16	1.42
H10	458,000	14.2	64.4	回収尾数(尾)	0	0	1,400	1,000	2,000	1,100	1,200	6,700
	87t			回収重量(kg)	0	0	865	1,144	3,333	2,496	4,677	12,515
	61.2mm			回収率(%)	0.00	0.00	0.31	0.22	0.44	0.24	0.26	1.46
H11	392,900	16.3	48.0	回収尾数(尾)	0	500	2,100	3,700	1,100	800	1,400	9,600
	105t			回収重量(kg)	0	147	1,117	3,916	1,837	1,685	5,265	13,967
	69.4mm			回収率(%)	0.00	0.13	0.53	0.94	0.28	0.20	0.36	2.44
H12	340,600	16.5	92.1	回収尾数(尾)	100	900	1,500	1,000	500	200	400	4,600
	75t			回収重量(kg)	6	190	788	1,042	879	412	1,645	4,962
				回収率(%)	0.03	0.26	0.44	0.29	0.15	0.06	0.12	1.35
H13	315,200		79.8	回収尾数(尾)	30	600	1,000	1,300	700	100	500	4,230
	82t			回収重量(kg)	3	178	711	1,331	1,283	558	1,618	5,682
				回収率(%)	0.01	0.19	0.32	0.41	0.22	0.03	0.16	1.34
H14	250,209		83.7	回収尾数(尾)	0	300	1,200	700	500	100	398	3,198
	106t			回収重量(kg)	0	103	727	751	771	166	1,506	4,024
				回収率(%)	0.00	0.12	0.48	0.28	0.20	0.04	0.16	1.28
平均			回収尾数(尾)	612	5,900	4,045	2,027	945	800	827	15,157	
			回収重量(kg)	56	1,727	2,476	2,206	1,574	1,829	3,126	12,993	
			回収率(%)	0.11	1.16	0.85	0.45	0.21	0.17	0.19	3.13	

表2 放流群別・年齢別回収状況

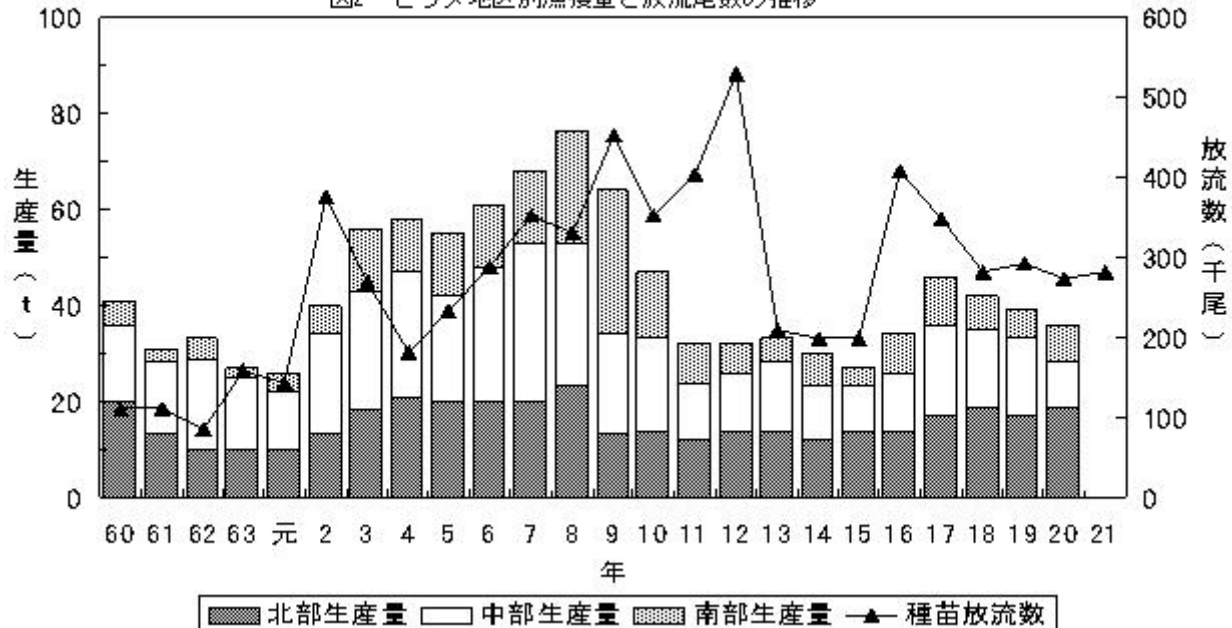
15千尾、13トン  
3.1%

## 2. ヒラメの放流効果について

### (1) 漁獲量の推移

図2のとおり、ヒラメの漁獲量は、平成元年の24トンと増加傾向に転じ、平成8年には76トンと、放流が開始された昭和60年の2倍近い水揚げとなりました。しかし平成9年から11年にかけて急激に減少し、15年には28トンと30トンと割り込みました。その後は、平成17年に47トンにまで回復したものの、平成18年41トン、平成19年39トン、平成20年37トンと減少傾向にあります。

図2 ヒラメ地区別漁獲量と放流尾数の推移





### (2) 毎年の放流魚混獲状況

表3は、本県のヒラメ漁獲量のうち放流魚が混獲されている重量と割合を、市場調査等の結果により推定したものです。全海域における放流魚の混獲量が算出できるようになった、平成12～20年(9カ年)における平均混獲重量は全体の16.3%の5.8トンと推定されました。



	重量(トン)		
	全体	放流魚	割合
H12	32	5.5	17.2%
H13	33	7.3	22.1%
H14	30	5.3	17.7%
H15	28	4.2	15.0%
H16	35	2.6	7.4%
H17	47	7.3	15.5%
H18	41	4.8	11.7%
H19	39	10.6	27.2%
H20	37	4.6	12.4%
平均	36	5.8	16.3%

表3 毎年のヒラメ放流魚混獲状況

### (3) 放流群別の放流ヒラメ回収状況

表4は、放流された年ごとのヒラメ放流群について、各群各年齢ごとに漁獲による回収尾数、重量、回収率を、ヒラメの漁獲量が比較的多い県中部地区(都農町から宮崎市)において、より詳細なデータを基に推定を行ったものです。平成5～13年放流群の平均回収尾数は約5千尾、重量は約3トン、平均回収率は約2.3%と推定されました。

放流年	放流尾数	項目	年 齢							計	
			0才	1才	2才	3才	4才	5才	6才		7才+
5	152,000	回収尾数	324	3,288	877	322	5	16	0	2	4,835
		回収重量	88	2,020	908	488	11	42	0	9	3,543
		回収率	0.213	2.163	0.577	0.212	0.003	0.010	0.000	0.001	3.181
6	232,700	回収尾数	1,318	3,042	639	298	18	1	0	97	5,413
		回収重量	282	1,918	892	482	37	3	0	398	3,791
		回収率	0.568	1.307	0.275	0.128	0.008	0.001	0.000	0.042	2.326
7	299,858	回収尾数	789	1,985	511	278	2	0	32	1	3,600
		回収重量	186	1,235	508	422	5	0	103	5	2,444
		回収率	0.283	0.682	0.170	0.093	0.001	0.000	0.011	0.000	1.200
8	216,000	回収尾数	1,311	1,014	425	145	5	82	3	4	2,990
		回収重量	207	537	426	224	11	211	9	17	1,640
		回収率	0.607	0.469	0.187	0.067	0.002	0.038	0.001	0.002	1.384
9	389,000	回収尾数	2,811	2,343	587	53	557	9	0	2	6,362
		回収重量	602	1,427	592	80	1,073	24	0	6	3,804
		回収率	0.782	0.635	0.159	0.014	0.151	0.003	0.000	0.000	1.724
10	239,700	回収尾数	2,581	1,765	540	749	82	3	2	4	5,707
		回収重量	590	1,089	561	1,108	122	8	7	15	3,498
		回収率	1.077	0.737	0.225	0.312	0.026	0.001	0.001	0.002	2.381
11	270,527	回収尾数	1,524	2,291	1,256	382	48	38	7	0	5,547
		回収重量	393	1,403	1,240	572	96	99	22	0	3,824
		回収率	0.583	0.847	0.484	0.141	0.018	0.014	0.003	0.000	2.050
12	228,000	回収尾数	5,140	1,624	807	41	182	24	13	0	7,831
		回収重量	1,183	806	789	64	339	61	40	0	3,282
		回収率	2.254	0.712	0.354	0.018	0.080	0.011	0.005	0.000	3.435
13	147,000	回収尾数	1,408	1,004	1,063	447	333	22	3	6	4,284
		回収重量	307	527	1,054	643	624	56	8	23	3,243
		回収率	0.958	0.883	0.723	0.304	0.228	0.015	0.002	0.004	2.814
平均	147,000	回収尾数	1,912	2,040	745	302	135	22	7	13	5,174
		回収重量	422	1,218	752	451	258	56	21	53	3,230
		回収率	0.807	0.913	0.349	0.143	0.057	0.010	0.003	0.008	2.288

表4 放流群別・年齢別回収状況

5千尾、3トン  
2.3%

マダイ・ヒラメの放流魚は、それぞれ毎年、平均すると水揚げ全体の十数%を占めるものと推測されますが、種苗放流は、この漁獲による直接的な放流効果とともに、放流魚が子供を生むという二次的効果により、資源量全体の底上げに寄与することが期待されます。

今後、放流効果をより高めつつ、マダイ・ヒラメ資源を維持し、増やしていくためには、経済価値の低い、小型の若齢魚の漁獲を抑えるなどの、資源に負荷を与え過ぎない効率的な漁業を行うとともに、放流時においては、放流稚魚を弱らせてしまわないように取扱いをいっそう注意深く行うなど、資源の管理と適正な放流手法の実践が重要であると考えています。

日向灘のマダイ、ヒラメの安定漁獲に向けて、試験場も浜も、みんなで頑張りましょう。

## 10月の動き (県関係)

21日	九州ブロック普及指導員研修会(宮崎市)	26日	第52回宮崎県青年女性漁業者交流大会(宮崎市)
22日	第344回海区漁業調整委員会(宮崎市)	29日	第281回内水面漁場管理委員会(宮崎市)
26日	平成22年度宮崎県水産振興祭(宮崎市)		

# FISHERIES EXPERIMENT

## 第46回漁協職連体育大会



**宮** 崎県漁協職員連絡協議会(委員長・横山幸三)は、10月24日(日)宮崎海洋高校体育館において県下漁協の会員約117名の参加のもと第46回職連体育大会を開催した。

大会は開会宣言に続き、二宮副委員長より「会員間の親睦を図り、けがをしないように頑張ってください」と挨拶があり、その後、宮崎県漁業共済組合の杉田さん・常増さんによる力強い選手宣誓のあと競技に入った。

各種目ともに白熱し、大きな歓声に後押しされ熱戦が繰り広げられた。

結果は、青団(県北漁協・日南市漁協・漁連)160点、赤団(県南漁協)160点、白団(県中漁協・関係団体)100点であったため、青団と赤団のじゃんけんによる優勝決定戦の結果、赤団の優勝となった。

その後、二宮委員長の閉会宣言とともに幕を閉じた。



## 県旋網漁業組合 第3役員会

**宮** 崎県旋網漁業組合(組合長 森本徳喜)は10月25日、延岡ロイヤルホテルにおいて平成22年度第3回役員会を開催した。協議内容は右記のとおり

1. 本年度の魚礁整備について
2. 日向灘掃海訓練について
3. TAC協定書について

## 全国漁港漁場大会

**第** 62回全国漁港漁場大会が10月28日、沖縄県宜野湾市『沖縄コンベンションセンター』に於いて開催されました。先進的な取組事例の発表があり、水産業と漁村の活性化を支える水産基盤整備の重要性について議論されました。これを踏まえて12月1日に国会・政府関係機関にアピール行動を行う(予定)

## 10月の動き

4~5日	棚卸監査	24日	漁協職連運動会
6日	JFグループ新運動方針関連説明会	25日	宮崎県旋網組合第3回役員会
8日	漁政対策委員会第4回委員会	26日	水産振興祭
	日向灘掃海訓練海面設定説明会	26日	青年・女性漁業者交流大会
18~22日	決算監査	28日	お魚料理講習会(高鍋高校)
22日	第3回理事会		